

博物館企画展「恩納村の植物」を開催します!

2014（平成26）年に刊行された『恩納村誌 第1巻 自然編』では恩納村内で確認された野生植物と帰化植物（栽培逸出を含む）合わせて160科561属979種が報告されています。恩納村は地形的には海岸から山地まで、地質的には石灰岩からなる地域とそうでない地域からなり、多様な植物が生育し、豊かな自然を形成している地域です。

しかし、恩納村の山地はかつての沖縄戦により破壊され、残された森林も戦後に建築資材としての木材や薪や炭などの燃料の供給地、米軍用地として実弾演習による頻繁な山火事の発生などにより、大きな被害を受けました。また集落の後背地は耕作地の整備やゴルフ場などに改変されてしまいました。ですが、時間の経過とともにそうした地域も植物が回復してきているようです。

人々はこうした豊かな自然と上手く付き合い、その恩恵を受けて暮らしてきました。しかしながら、現在では外来種の分布域の拡大により、在来の植物の生息域が脅かされたり、人の影響を受けたりして、植物を取り巻く自然環境も変化しています。今回の展示会ではこうした植物と自然環境について考える機会にいただけると幸いです。

参考文献：日越國昭 ほか 2014、「恩納村の植物」『恩納村誌 第1巻 自然編』、恩納村誌編さん委員会



山地に広がるイタジイ林の景観



分布域を拡げている特定外来生物「ツユヒヨドリ」



恩納村周辺で見られるドングリ類「ツユヒヨドリ」

開催期間：7月19日（金）～9月29日（日）

会場：博物館 2階企画展示室

開館時間：午前9時～午後5時（最終入館は午後4時30分まで）

休館日：7月22、29日、8月5、13、14、19、26日

9月2、9、17、18、24、25日

観覧料：無 料

展示の内容

1、恩納村の自然と植生

- ・ 沖縄島の植物相
- ・ 恩納村の植物相

2、植物の恩恵

- ・ 植物の方言名
- ・ 植物の利用

3、恩納村の大切な場所

- ・ 海浜植生（村内海岸）
- ・ 琉球石灰岩地植生
- ・ 山地植生など

4、植物との付き合い方

- ・ 外来植物
- ・ 植物の分布公開と希少種保護 ほか